

船舶事故等調査報告書

平成24年12月20日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012門第78号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成24年4月16日 05時00分ごろ
発生場所	関門港若松第5区堺川泊地 福岡県北九州市所在の堺川口船だまり防波堤灯台から真方位250°150m付近 (概位 北緯33°54.5' 東経130°51.2')
事故等調査の経過	平成24年5月18日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	砂利運搬船兼貨物船 第二十八かねと丸、499トン
船舶番号、船舶所有者等	135411、津久見海運株式会社
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	プロペラ翼に欠損及び曲損
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか4人が乗り組み、石灰石1,400tを積載し、平成24年4月16日04時10分ごろ関門橋の下を通過したので、予定の時刻よりも早く着岸できそうであったため、04時30分ごろ、船長が、電話により、今から入港する旨を業者に連絡して綱取りを手配したのち、05時00分ごろ堺川泊地に至り、綱取りを待つ間、機関を止め、漂泊を開始した。</p> <p>本船は、10分ほど漂泊していたが、綱取りが岸壁に到着したため、機関を始動して05時20分ごろ着岸し、07時00分ごろから荷役を開始して17時00分ごろ積み荷全量を陸揚げした。</p> <p>本船は、17時10分ごろ出港したところ、船体に異常な振動を感じたことから、翌17日に造船所で点検したところ、プロペラ翼に欠損及び曲損が確認された。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 東、風力 1、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 上げ潮の末期、潮高 約79cm（関門港製鉄戸畑泊地）</p> <p>日出時刻：05時44分ごろ</p>
その他の事項	<p>本船の喫水は、船首約3.5m、船尾約4.5mであった。</p> <p>船長は、漂泊中に音響測深機の使用、船位の測定などを行っていなかった。</p> <p>船長は、月1回程度の頻度で関門港に入港しており、本事故当時は約10回目の入港であった。</p> <p>船長は、本事故発生場所付近の水深は浅いと認識していた。</p>

	海図W1263によれば、堺川泊地の河口部には干出浜があり、河口付近の水深は5m以下となっている。
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、堺川泊地の河口付近において漂泊する際、船長が船位や水深を確認していなかったことから、浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、堺川泊地の河口付近において漂泊する際、船長が船位や水深を確認していなかったため、浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 入出港時の喫水と浅所の水深に注意すること。